

Technology to Inspire Innovation

# **2014年度決算及び 2015年度業績見通し説明会**

2015年4月28日

**6807 日本航空電子工業株式会社**

**I . 2014年度決算**

**II . 2015年度業績見通し**

# I . 2014年度決算

## 2期連続で過去最高業績を達成

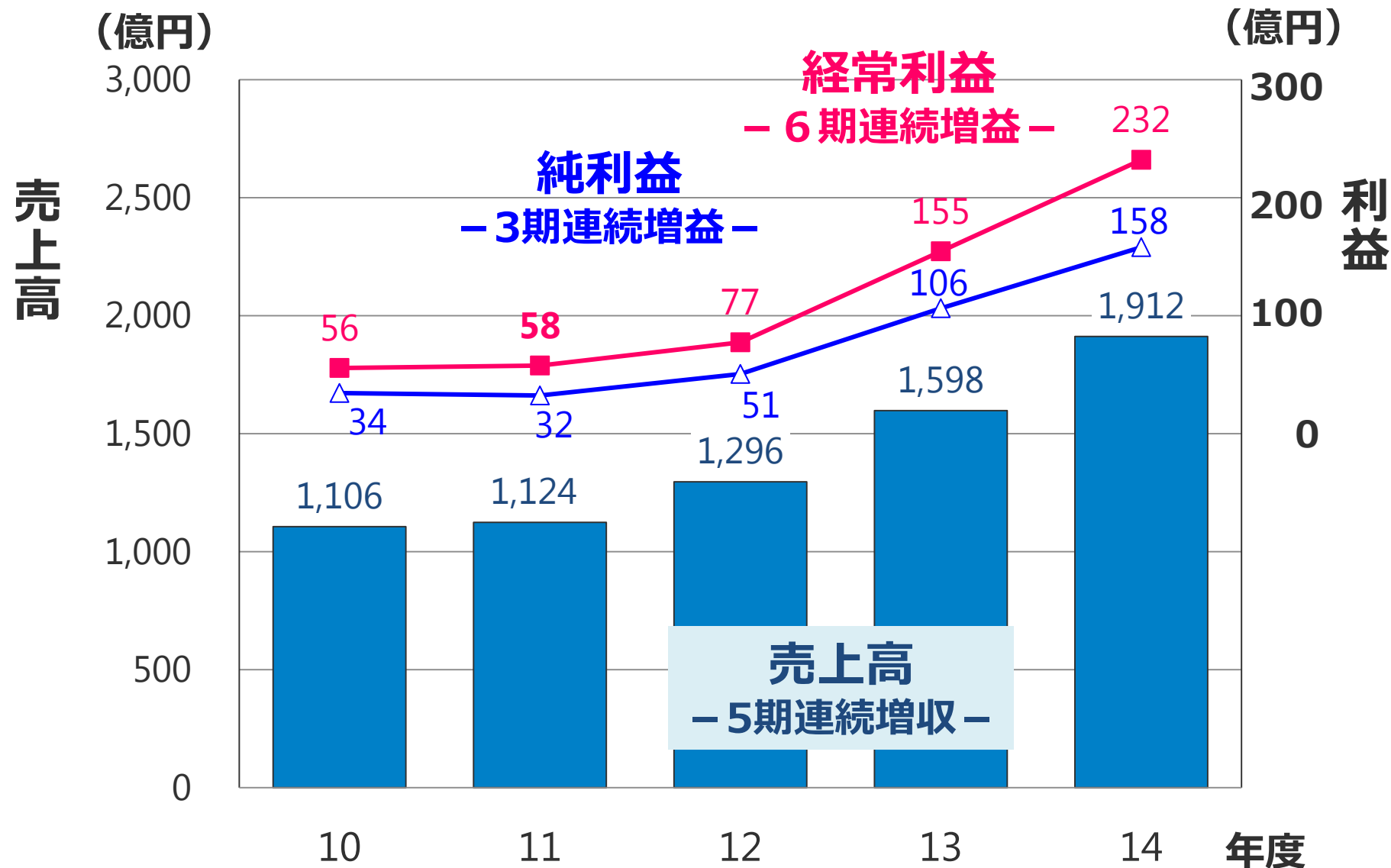
- 海外携帯機器が大きく伸長、自動車、産機インフラも堅調に推移
- 下期を中心に円安が売上・利益を押し上げ
- 前年比 売上 約1.2倍、利益 約1.5倍

# 1-2. 全社売上・利益

	2013年度		2014年度		前年比	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	1,598		1,912		314	120%
営業利益	165	10.3%	259	13.5%	94	157%
経常利益	155	9.7%	232	12.1%	77	150%
純利益	106	6.6%	158	8.2%	51	148%
期中平均 為替レート (円/US\$)	100.17		109.76		—	

※ 金額は億円単位に四捨五入しております。

# 1-3. 全社売上・利益推移



※ 金額は億円単位に四捨五入しております。

■ 売上高 ■ 経常利益 ▲ 純利益

- **コネクタ、UISは前年比で2ケタ増収**
- **市場別では海外携帯機器と自動車が牽引し大きく伸長**

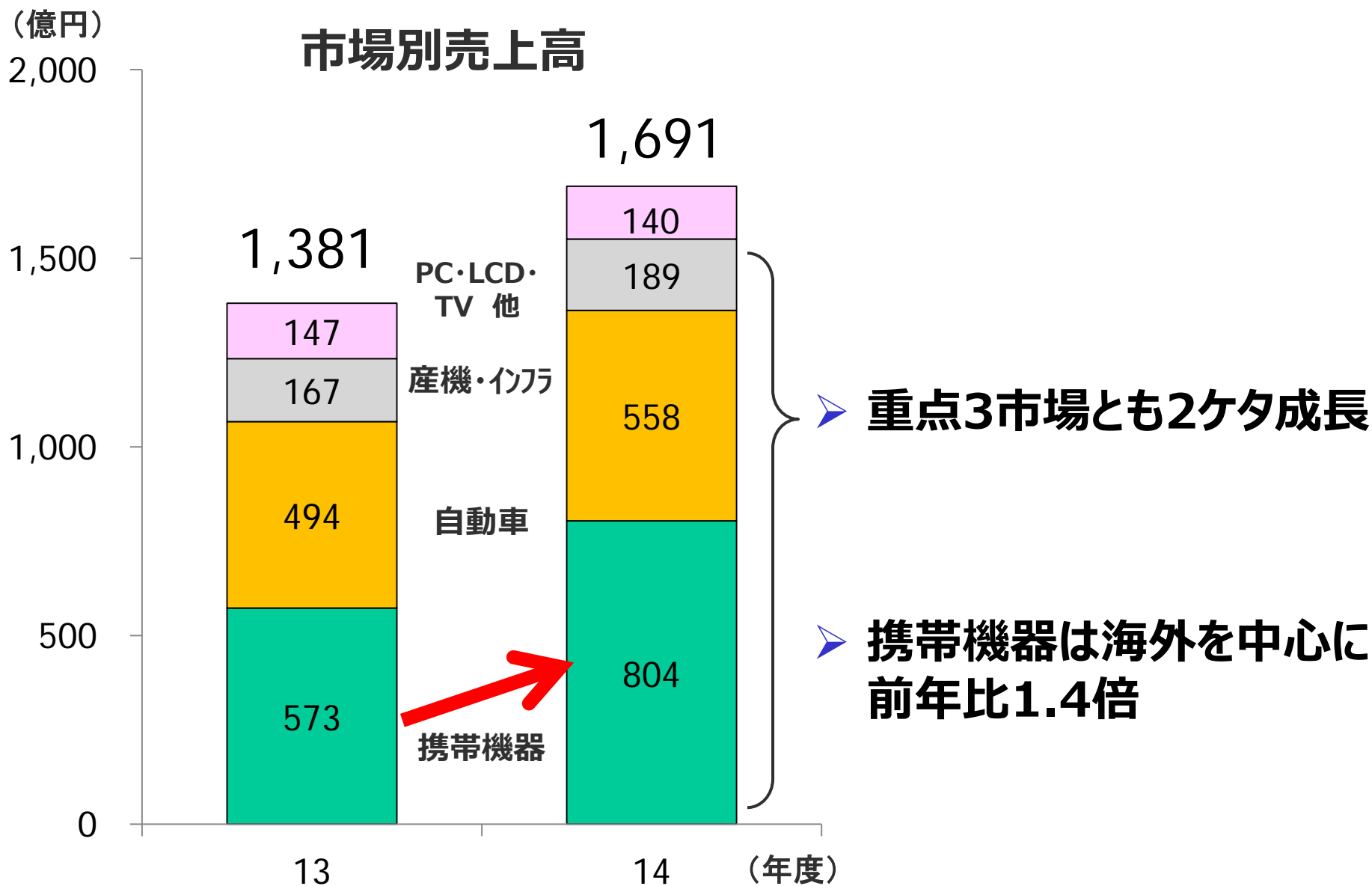
## 2-2. 事業部門別売上高

	2013年度		2014年度		前年比	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コネクタ	1,381	86%	1,691	88%	310	122%
UIS	63	4%	71	4%	8	113%
航機	146	9%	142	7%	-4	97%
その他	8	1%	8	1%	0	104%
計	1,598	100%	1,912	100%	314	120%

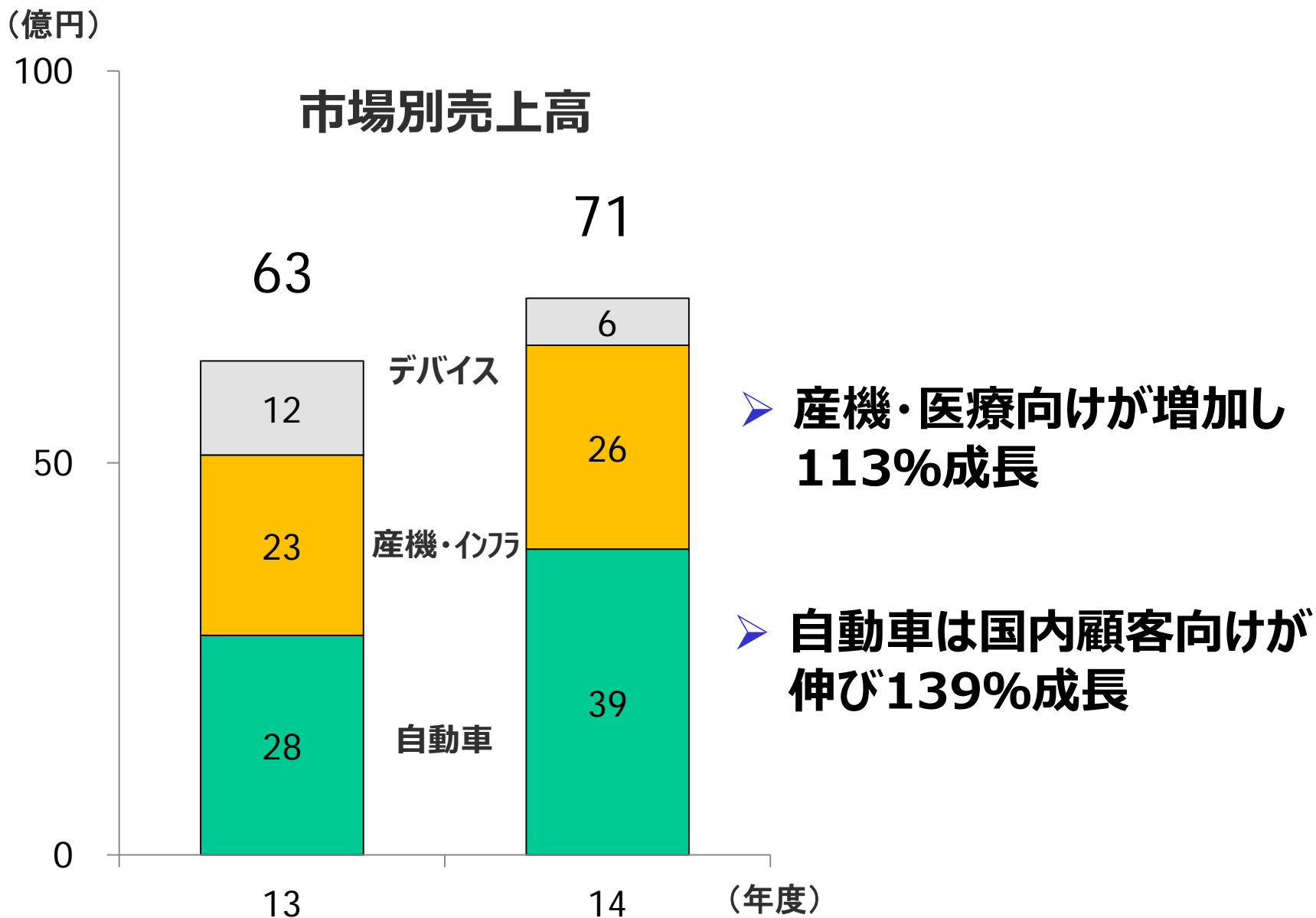
※ 金額は億円単位に四捨五入しております。



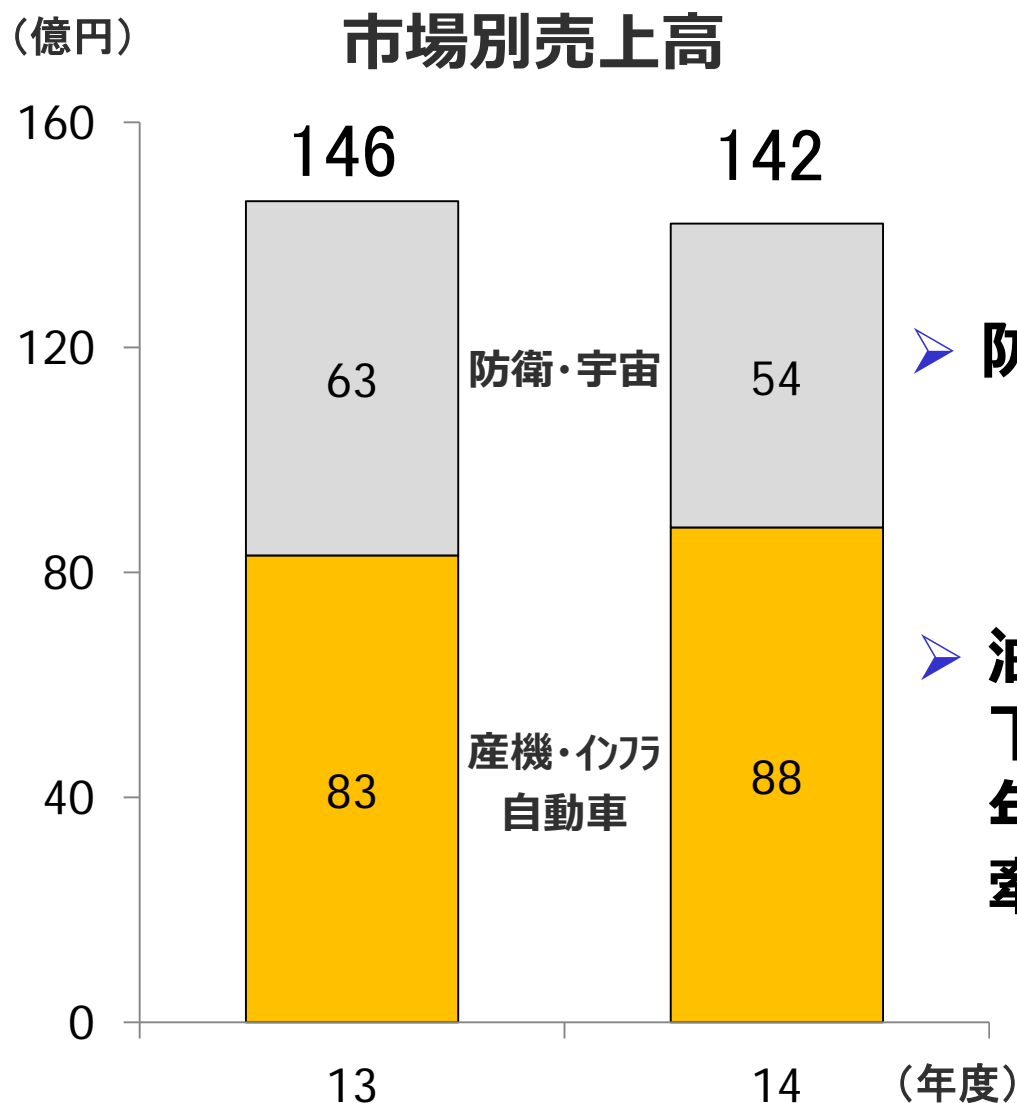
## 2-3. コネクタ事業



## 2-4. UIS事業



## 2-5. 航機事業



➤ 防衛は下期を中心に減少

➤ 油田掘削向けが、原油価格下落の影響はあるものの、年間では産機売上拡大を牽引

## 2-6. 市場別売上高

	2013年度		2014年度		前年比	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
携帯機器	573	36%	804	42%	231	140%
自動車	525	33%	604	32%	79	115%
産機・ インフラ	270	17%	296	15%	26	110%
その他	230	14%	208	11%	-22	90%
計	1,598	100%	1,912	100%	314	120%

※ 金額は億円単位に四捨五入しております。

## 2-7. 国内・海外売上高

	2013年度		2014年度		前年比	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
<b>国内</b>	<b>550</b>	34%	<b>551</b>	29%	<b>1</b>	100%
<b>海外</b>	<b>1,048</b>	66%	<b>1,361</b>	71%	<b>313</b>	130%
<b>計</b>	<b>1,598</b>	100%	<b>1,912</b>	100%	<b>314</b>	120%

※ 金額は億円単位に四捨五入しております。

# 営業利益は前年比約1.6倍に増益

- コネクタは売上伸長と為替円安により大幅増益
- UISは黒字転換

## 3-2. 事業部門別営業利益

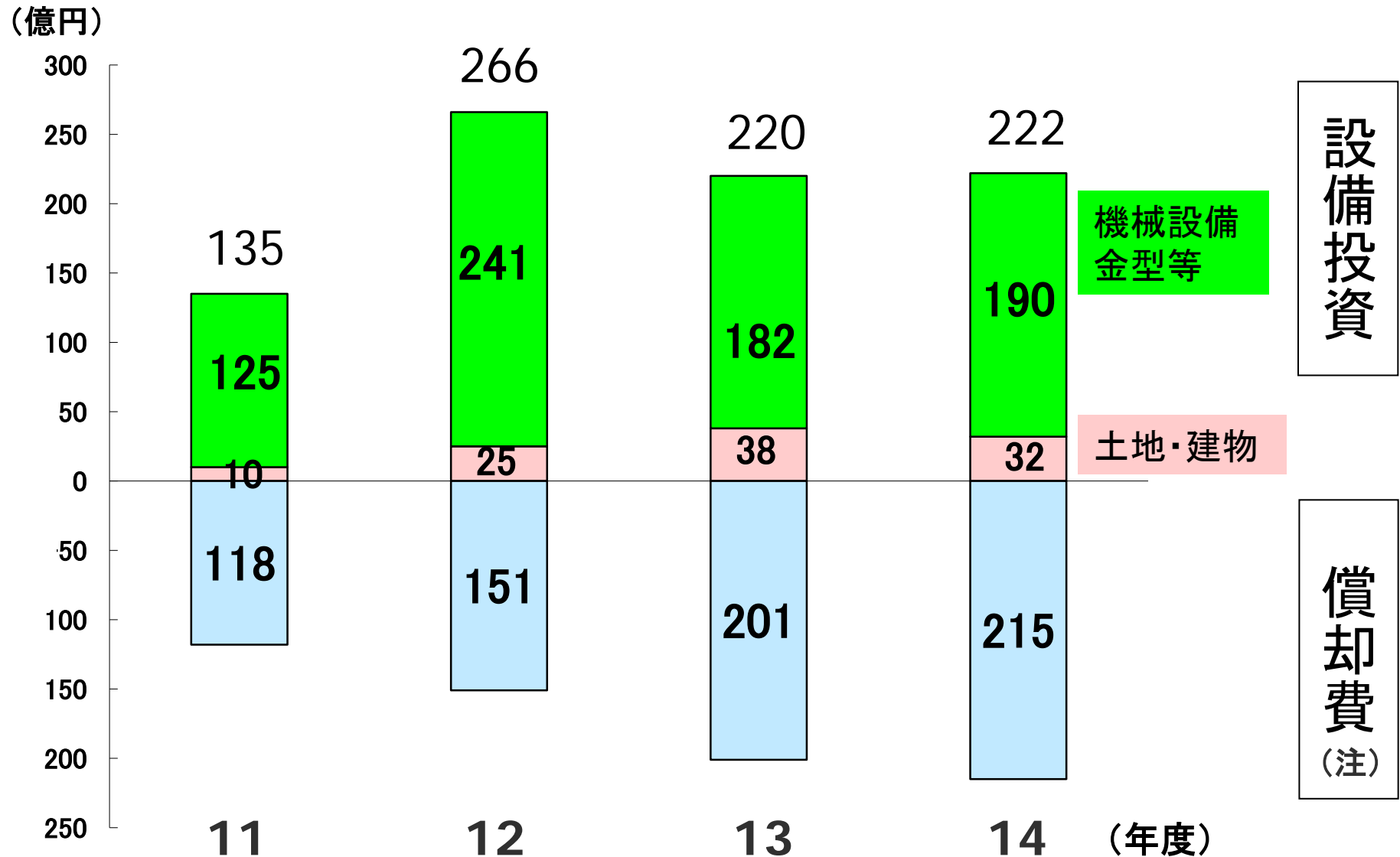
	2013年度		2014年度		前年比	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コネクタ	193	14.0%	287	17.0%	94	149%
UIS	-0	-0.5%	4	5.1%	4	黒字転換
航機	9	6.3%	7	4.9%	-2	76%
配賦不能 他	-37	—	-39	—	-2	—
全社	165	10.3%	259	13.5%	94	157%

※ 2013年度、14年度の(%)は売上高営業利益率。

※ 前年同期比の(%)は伸長率。

※ 金額は億円単位に四捨五入しております。

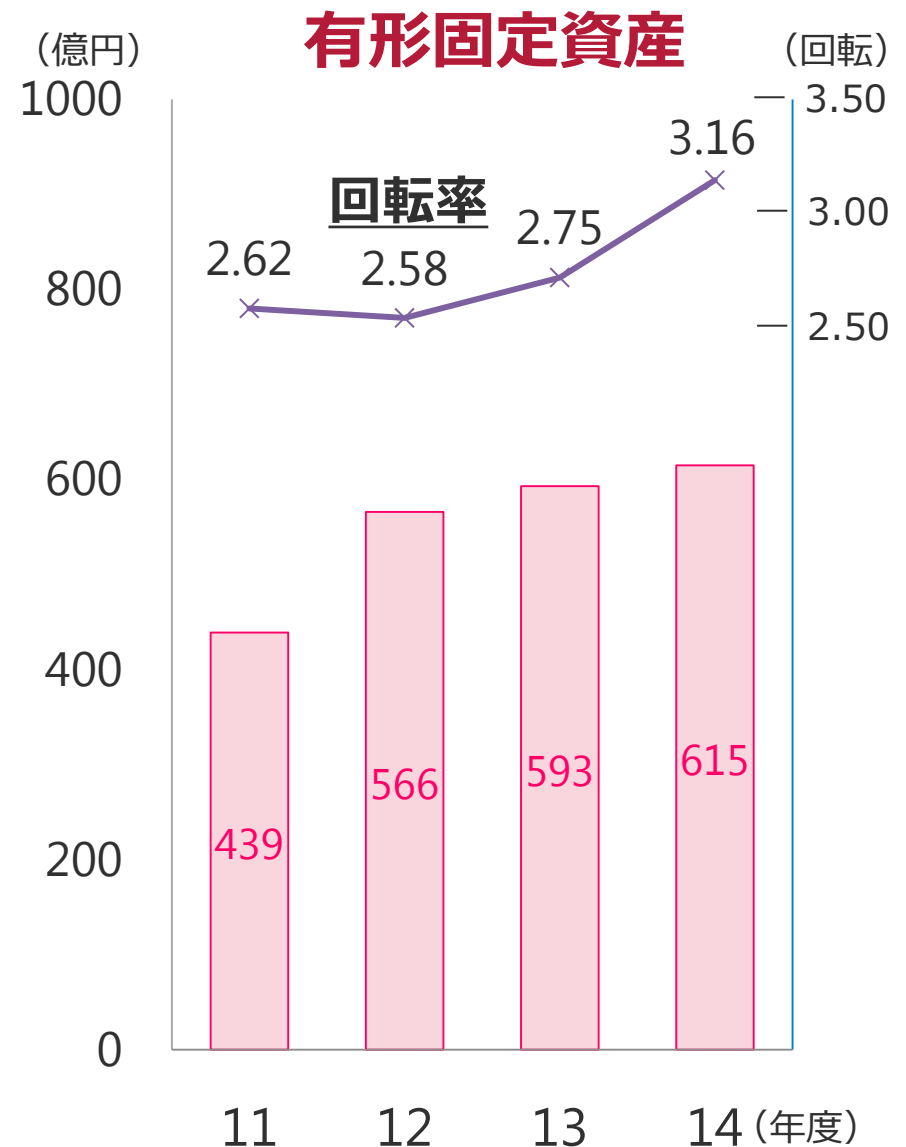
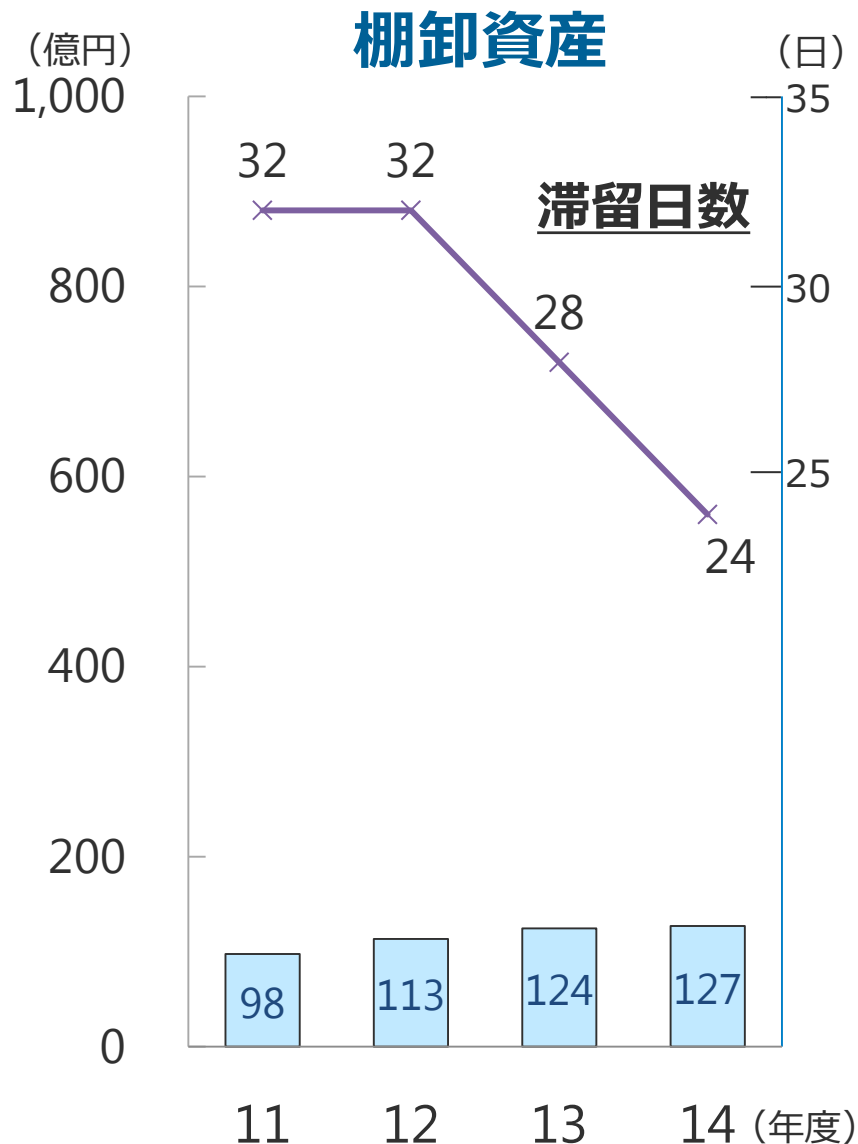
# 4-1. 設備投資・償却費



(注) 固定資産の除却分を含んでおります。



## 4-2. 資産効率の改善



※ 金額は億円単位に四捨五入しております。

- **2014年度期末配当：**  
**当初10円を計画**  
**5円増配し、15円に**
- **2015年度（予定）**  
**中間配当： 15円**  
**期末配当： 15円      年間30円**

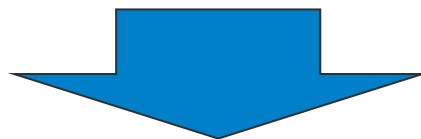
## Ⅱ. 2015年度業績見通し

- **携帯機器** : スマートフォンは成長率は鈍化するが  
引続き大きな市場規模  
ウェアラブルも拡大が期待される
- **自動車** : 地域別には強弱があるものの、  
グローバルでは昨年並みの成長
- **産機・インフラ** : 新興国の設備投資需要鈍化懸念  
全体としては緩やかに成長

## ➤ 基本方針は堅持

- ・グローバルマーケティングと技術開発力強化に基づく的確な玉出しによる増収
- ・内製化を軸とした技術革新・経営革新の両輪による収益力強化
- ・成長投資を継続し、収益に繋ぐ

## ➤ 重点3市場（携帯機器・自動車・産機インフラ）への玉出し強化



**引続き成長をキープ**

**3期連続で最高業績の更新を目指す**

## 2-1. 全社売上・利益見通し

	2015年度							
	上期予想		前年同期比		通期予想		前年比	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	970		81	109%	2,030		118	106%
営業利益	124	12.8%	18	117%	270	13.3%	11	104%
経常利益	112	11.5%	12	112%	240	11.8%	8	104%
純利益	80	8.2%	8	111%	170	8.4%	12	108%

※ 金額は億円単位に四捨五入しております。

※ 2015年想定為替レート：1 \$ = 115 円

## 2-2. 事業部門別売上見通し

	2015年度							
	上期予想		前年同期比		通期予想		前年比	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コネクタ	875	90%	95	112%	1,800	89%	109	106%
UIS	37	4%	4	113%	78	4%	7	110%
航機	54	6%	-18	75%	144	7%	2	101%
その他	4	0%	0	99%	8	0%	0	100%
計	970	100%	81	109%	2,030	100%	118	106%

※ 金額は億円単位に四捨五入しております。

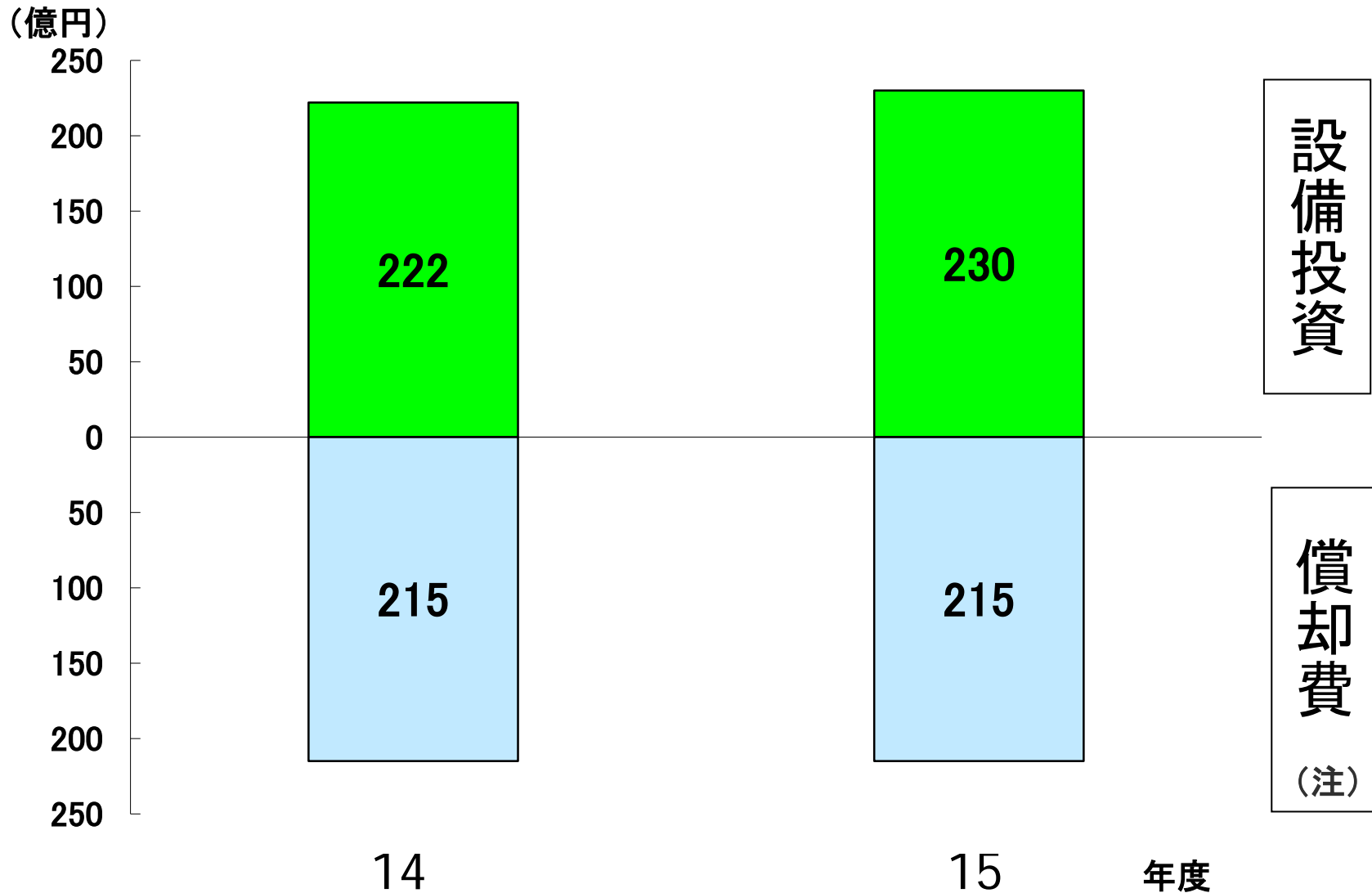
## 2-3. 市場別売上見通し

	2015年度							
	上期予想		前年同期比		通期予想		前年比	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
携帯機器	415	43%	60	117%	850	42%	46	106%
自動車	320	33%	41	115%	670	33%	66	111%
産機・ インフラ	150	15%	1	101%	330	16%	34	111%
その他	85	9%	-22	79%	180	9%	-28	87%
計	970	100%	81	109%	2,030	100%	118	106%

※ 金額は億円単位に四捨五入しております。



## 2-4. 設備投資・償却費見通し



(注) 固定資産の除却分を含んでおります。

# 3-1 .市場別戦略① (携帯機器)

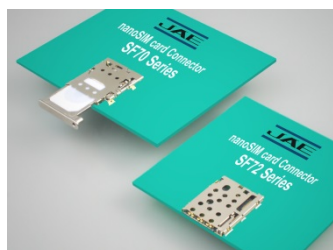
## MicroSIMカード用コネクタ



SF58シリーズ

業界最低背・最小面積クラス

## nanoSIMカード用コネクタ



SF70・72シリーズ

業界最低背・最小面積クラス



DX07シリーズ

USB Type C  
信号速度10Gbps  
定格電流最大5A

## 基板対基板用コネクタ

業界最小ピッチ・最低背クラス



WP7シリーズ  
0.4mmピッチ  
嵌合高さ0.7mm



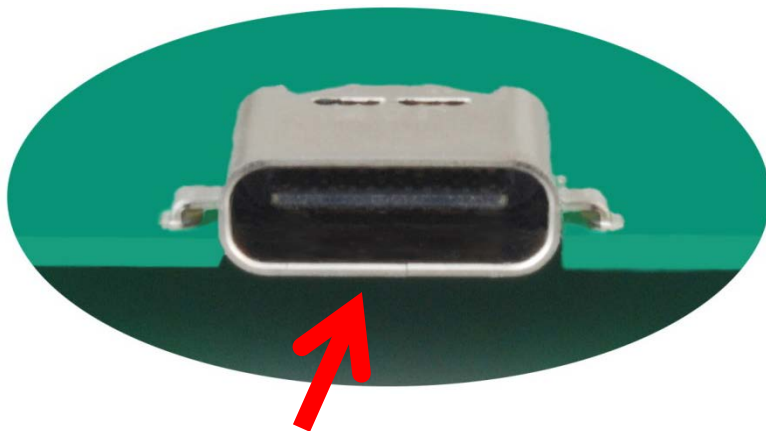
WP21シリーズ  
0.35mmピッチ  
嵌合高さ0.6mm



WP25Dシリーズ  
0.35mmピッチ  
嵌合高さ0.7mm  
電源端子付

## 3-2. 市場別戦略①（携帯機器）

### 次世代標準I/O USB Type C 「DX07」



- 表裏どちらでも挿抜可能なリバーシブル構造
- 高速伝送（10Gbps）
- 大電流供給対応（5A）



当社はコネクタの規格化参画メーカー

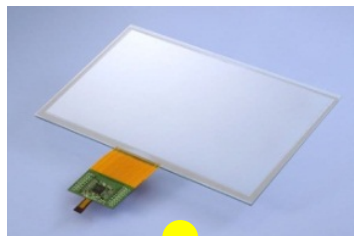
プラグ、レセプタクル、ハーネスのトータルパッケージで  
世界トップを狙う

# 3-3.市場別戦略②（自動車）

**JAE**

Technology to Inspire Innovation

静電タッチパネル



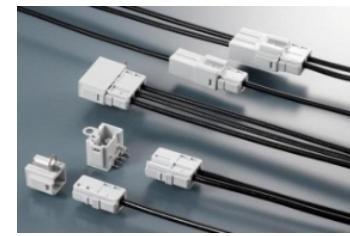
情報通信系



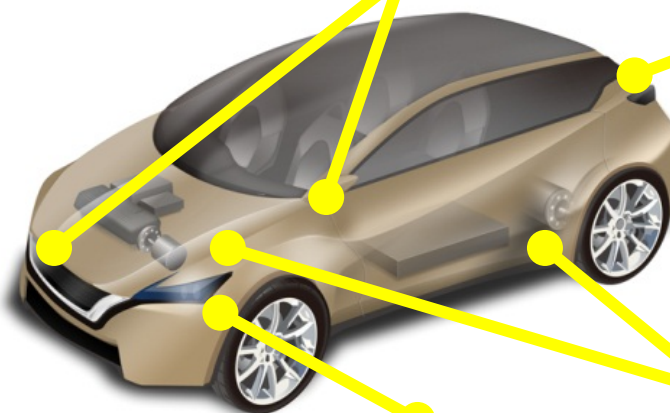
カーナビゲーション用



車載カメラ用



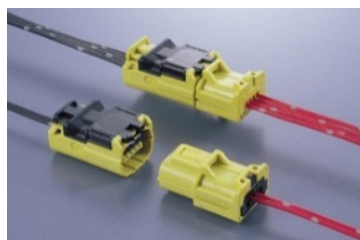
アンテナ用



VR型レゾルバ  
(EV/HV用)



安全系



エアバッグ用

ボディ・インパネ系

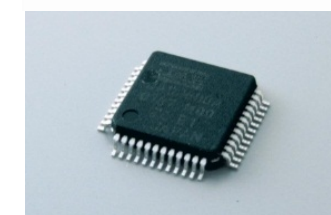


パワートレイン系



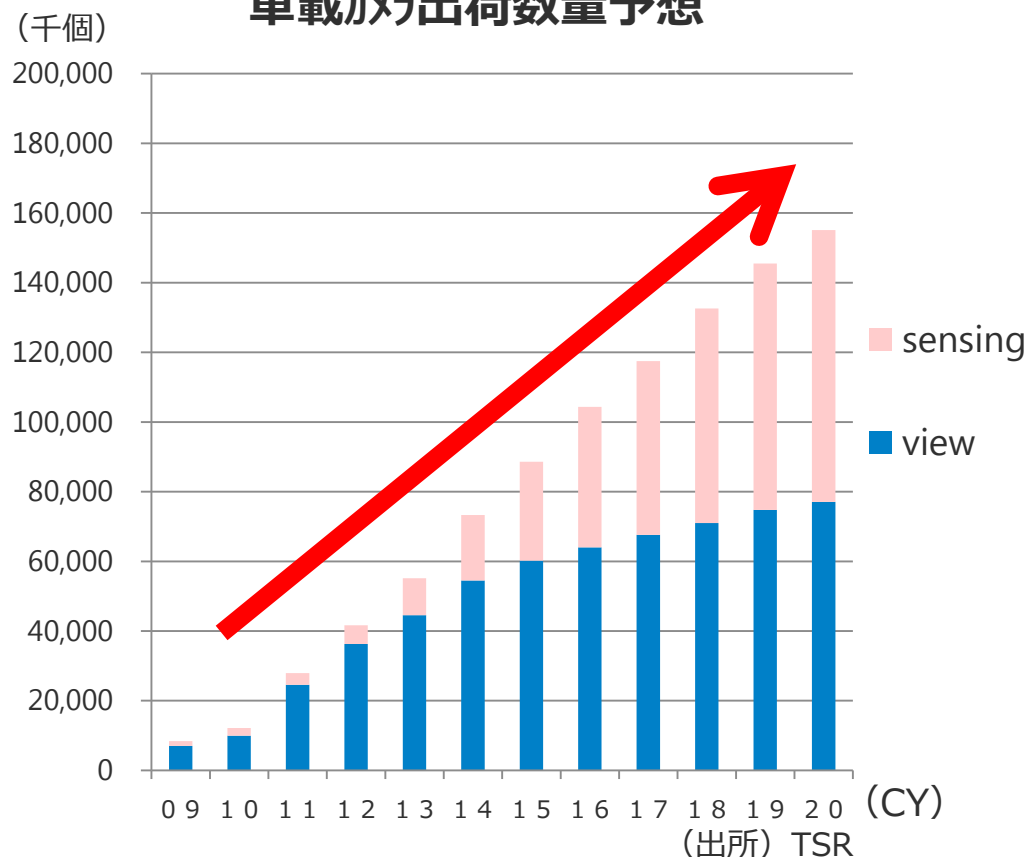
ECU用

レゾルバ/デジタルコンバータ



## 3-4.市場別戦略②（自動車）

車載カメラ出荷数量予想



車載カメラ用コネクタ



MX55シリーズ

**長期的に成長が予測される車載カメラ市場に注力  
欧州での実績をもとにグローバルに顧客層を拡大**



# 3-5. 市場別戦略③ (産機・インフラ)

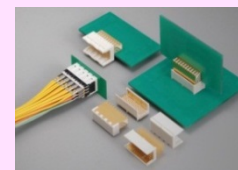
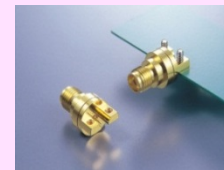
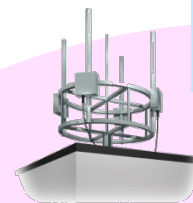
**JAE**

Technology to Inspire Innovation

FA



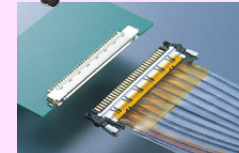
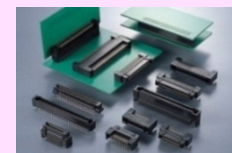
通信



電力



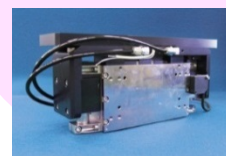
医療



鉄道・信号



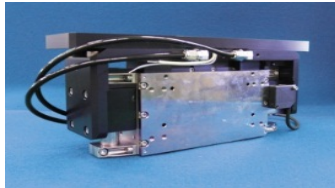
半導体製造装置  
・計測



# 4. 産機・インフラの生産体制強化

## ◆ 信州航空電子 新工場棟を増設 (15年3月竣工)

半導体製造装置向け製品の生産能力強化



## ◆ 油田掘削用センサパッケージの保守・サービス拠点 JAE Houston ,LLC を開設 (15年3月竣工)

現地における診断・修理体制を確立  
CS向上と新ニーズ獲得でビジネスを拡大

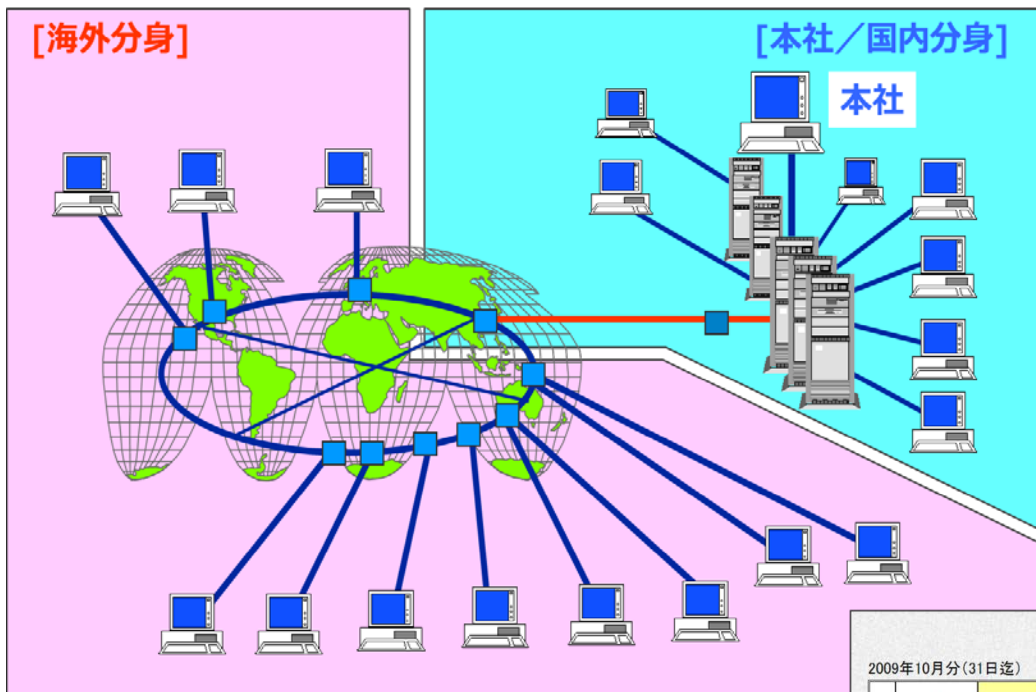


油田掘削用  
センサパッケージ



# 5. 経営管理体制/経営の見える化の強化

## 基幹系統合情報システムをバージョンアップ



### 連結経営管理の強化

- 連結原価管理の高度化
- SCM/在庫管理のグローバル管理強化
- グローバルレベルでの生産活動分析強化

### 経営の見える化を推進

- デイリー管理により、変化に対し迅速に対応

### 受注売上損益ダイリー進捗

2009年10月分(31日迄)

(単位: 億円)

	事業	受注				売上				売上GP				事業利益(経常)				棚卸資産				グラフ	
		予算	計画	実績	対予算	予算	計画	実績	対予算	予算	計画	実績	GP率	対予算	予算	計画	実績	対予算	予算	計画	実績		滞り数
連結	コネクタ	71.6	75.1	75.7	100%	74.8	75.1	75.1	102%	20.7	18.9	21.2	27.8%	102%	7.6	8.2	8.0	97%	59.5	61.4	63.5	25.9	
	UIS	11.9	9.7	10.9	91%	8.3	9.3	10.2	124%	-0.6	-0.5	-0.2	-	-	-1.4	-1.3	-1.1	93%	10.1	11.2	11.2	34.0	
	航機	9.0	5.1	3.9	44%	10.3	9.1	7.2	70%	1.7	1.3	0.7	9.3%	38%	-0.5	-0.9	-1.1	-0.8	33.4	34.4	35.3	15.3	
	その他	0.7	0.5	0.8	111%	0.7	0.5	0.7	100%	0.0	0.0	0.0	8.8%	-	0.0	0.0	0.0	-0.1	0.0	0.0	0.3	15.7	
	計	93.2	90.3	91.3	98%	94.0	94.0	94.2	100%	21.8	19.8	21.7	23.1%	100%	5.7	4.0	6.0	0%	103.0	107.0	110.4	98.3	

	事業	受注				売上				売上GP				事業利益(経常)				棚卸資産				グラフ	
		予算	計画	実績	対予算	予算	計画	実績	対予算	予算	計画	実績	GP率	対予算	予算	計画	実績	対予算	予算	計画	実績		滞り数
JAE単独	コネクタ計	57.0	57.1	59.4	103%	64.0	61.0	62.6	98%	12.0	10.5	11.7	16.7%	97%	2.6	1.8	2.6	0%	27.6	26.5	26.9	1.3	
	事業部	-	-	44.9	-	50.0	47.7	48.4	97%	9.5	8.3	9.2	19.1%	97%	2.1	1.1	2.0	-0.1	27.6	26.5	26.9	1.3	
	昭島製造	-	-	14.5	-	14.0	13.3	14.2	102%	2.5	2.2	2.5	17.2%	96%	0.7	0.5	0.9	0.1	-	-	-	-	
	UIS	5.6	3.0	3.2	56%	2.0	2.5	2.5	125%	-0.8	-0.8	-0.3	-	-	-1.4	-1.2	-1.0	0.4	6.9	7.6	7.5	9.4	
	航機	8.5	4.6	3.5	41%	8.1	9.9	9.1	68%	1.8	1.5	0.5	8.0%	31%	-0.2	-0.5	-1.2	-1.0	29.1	30.3	31.0	14.8	
	その他	0.0	0.0	0.3	0%	0.0	0.0	0.2	0%	0.0	0.0	-	-	-	-	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	-	-
計	71.6	64.7	66.3	92%	75.9	72.6	72.0	95%	13.0	11.4	11.9	16.5%	92%	1.2	-0.1	0.6	-0.6	63.6	64.4	65.3	28.1		



## 6. 中期目標

**1**

**全社売上高 2,500億円**

**2**

**純利益 200億円以上**

Technology to Inspire Innovation

**JAE**

#### <注意事項>

本資料に記載されている当社および連結子会社（以下JAEと総称します）の計画、戦略および業績見通し・目標は2015年4月28日現在の予測・目標であって、リスクや不確定な要素を含んでおります。

本資料に記載されている目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものでもありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績は、様々な要因により、見通し・目標等と大きく異なる結果となりうることを予めご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としてはJAEの事業領域を取り巻く日本・欧米・アジア等の政治・経済情勢、市場におけるJAE製品（ソフト製品を含む）に対する需要変動、競争激化による価格下落圧力、および競合各社に打ち勝ち供給し続ける能力、海外市場における事業拡大能力、事業活動に関する法規の変更やその不透明さ、潜在的な法的責任、為替レートなどがありますが、これら以外にも様々な要因が有り得ます。世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。

新たなリスクや不確定要因は随時発生することが明らかですが、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因がある為、将来予測に関して記述されている内容が実際には起こらない場合もあります。これらの記述に全面的に依拠することの無きようお願いいたします。